

自動化の鍵は、 計測の徹底と体制の再構築！

～DX・自動化に踊らされないためにやるべきこと～

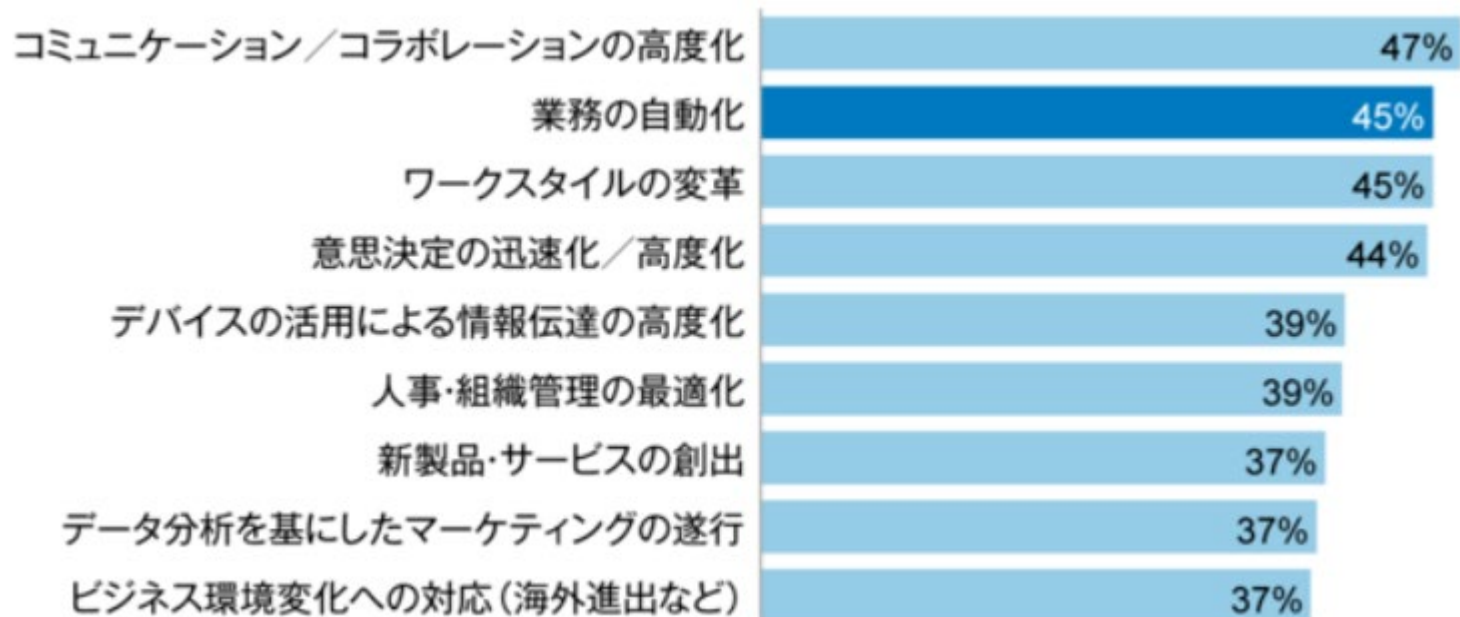
貴方の部門や会社はDXや●●自動化の波に乗っていますか？

- ビッグウェーブに乗っている
- やや乗っている
- 乗りたいけど乗れてない
- 興味がない



複数の類似アンケートで
40%が「興味あるが取り組めていない」状態

アンケートでは**業務自動化**が2位にランクイン



2位じゃダメなんじゃないかな

DXテーマの重視度（最重要課題と認識している割合）
出典：ITR 「業務自動化に関する動向調査2022」

業務自動化の主な事例

- インシデント初動対応のアラート振り分け効率化
- Windowsアップデート適用テストの自動化
- CI/CDによる自動デプロイ
- システム障害からの回復を自動化



IT運用業務の中でも**時間**や**人手**が掛かるものが
ターゲットにしやすい

DX、自動化、業務改善系の失敗あるある

- 主目的やゴールが不明確である
- 経営層とDX推進部門だけヤル気で現場は引き気味
- 現場丸投げ＝人がいねえスキルもねえ予算もねえ
- うまくいっているのか判断ができない
- 現場の**神**がいるから標準化ができない
- 過去にツール導入したら手間が増えてトラウマ
- デジタライゼーションや個別最適化で満足してしまった



日本のDXの成功率は**10%未満** 思ったより高いネ！！！！

自動化への鍵

なぜ自動化するのか、一度立ち止まってみましょう

Q. それって本当に必要な自動化ですか？

- 自動化が目的化していませんか？
- **何のために、誰のために**やるのか**共通理解**を得ていますか？

Q. なんでも自動化すればいいと考えてませんか？

- 自動化しやすい標準化されたタスクでも、**人手を掛けずやれてるもの**は自動化する方が**時間の無駄**です。優先順位を下げましょう。
- 人間がやることで意味を持つ業務は自動化に不向きです。
 - 例:判断を伴うもの、若手技術者の業務理解や技術習得、手順の修練の場など

目線を合わせ、お互いを理解しましょう

会社の論理

- 社員の生産性を高めたい
- 運用の予算や人を削りたい
- リスキリングさせたい
- DXで成果を出したい
- 新規ビジネスをしたい
- 現場主体でやってほしい

VS



現場の論理

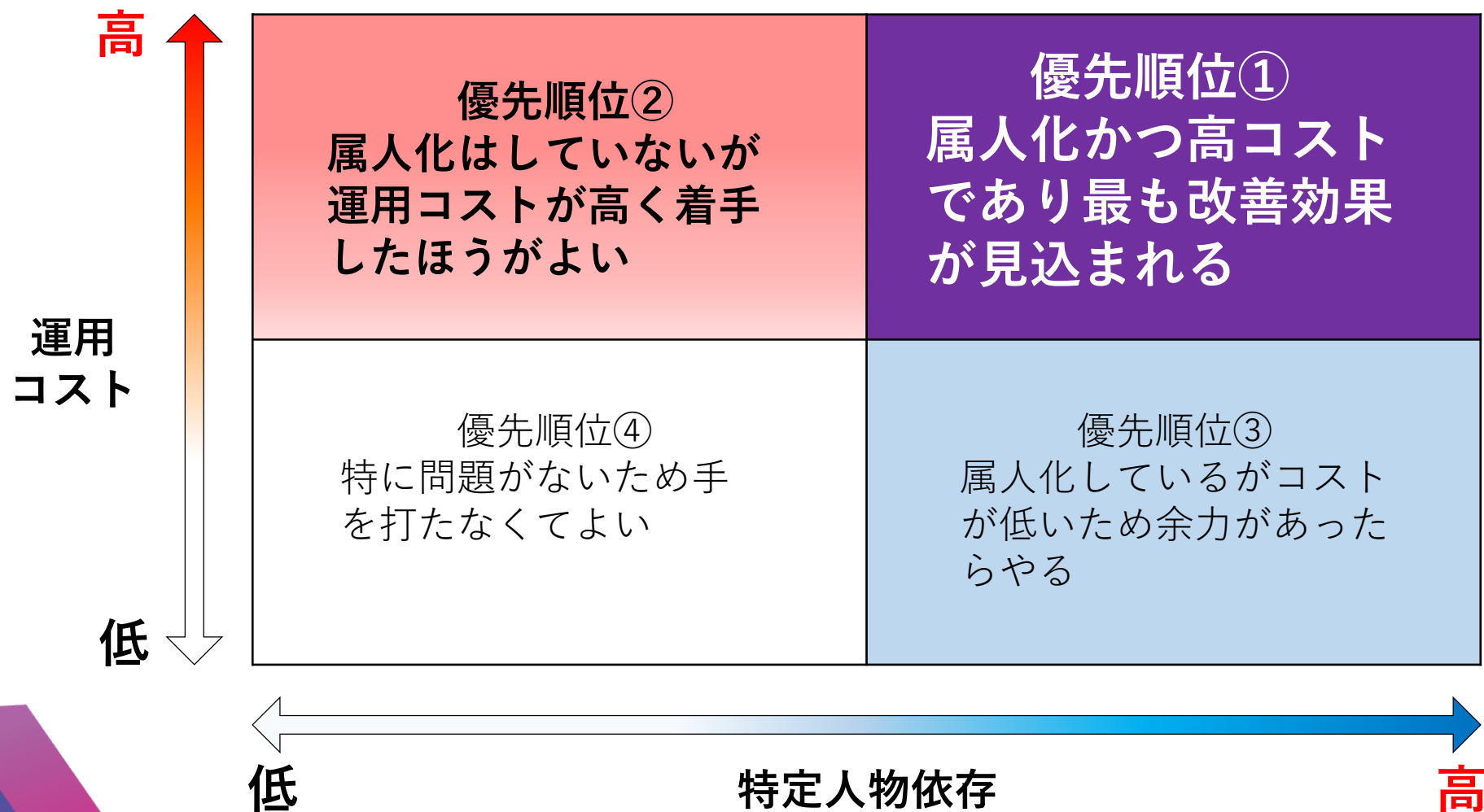
- 人がやるほうが確実
- 新しい人が入ってこない
- 現場には神がいる
- 今ある仕事は重要で価値がある
- 既存業務で手一杯である
- 上が決めてほしいが面倒事はイヤ

お互いに**正義**があることを認識しましょう
目線が合わないとDXや自動化などの業務改善は難しい

自動化成功のキーワード

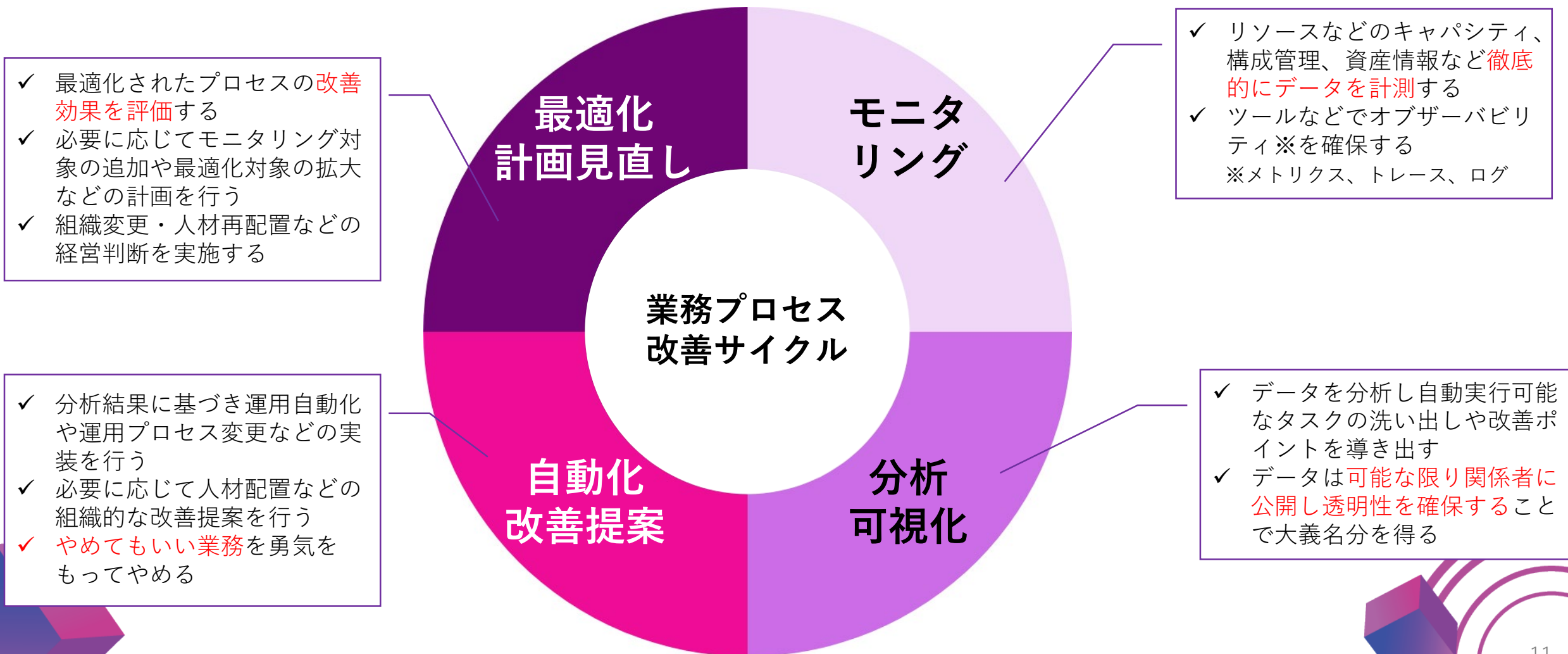
- ✓ 徹底的なデータの計測と可視化
 - **計測できないものは制御できない**
 - 定量的なデータに基づいてこそ人間は正しい判断を行える
 - オブザーバビリティを確保して継続的に計測する
 - **透明性**を高める
 - データは可能な限り関係者全員に公開する
 - 秘匿すると味方は増えません
- ✓ 経営＋現場でワンチーム
 - **経営者主導**
 - 予算や目標の策定、利害関係者の調整・統制は経営者の仕事
 - 従来の仕事を捨てる決断も経営者には求められる
 - **優先順位**をつける
 - 経営と現場で何に優先して取り組むのか合意し進める
- ✓ 業務改善は正しい業務理解から
 - 自社の**業務プロセスを理解**する（アセスメント）
 - **全体最適**を意識する

何から手を付けるか考えてみる



仕分けは大切
ですね

自動化＝業務プロセスの改善である



実は一番大切なこと

□ 推進者の熱意 & タフネス

- 全社を挙げて協力できれば美しいが、現実はとても厳しい
- きっと多くの反対や既得権益層とのハレーションが待ち受けています
- 孤独であっても必ず応援してくれる仲間はいます

□ チャレンジ & 失敗を許容する企業文化

- ぜひ推進者を応援する企業文化であることを望みます
- 積極的な失敗は称賛されて然るべきです

第三者によるアセスメント

- 自動化や業務プロセスの改善は自組織でやりきれない
- 前項のような様々な障壁も立ちはだかるケースもあります
- IIMは手前味噌ですが・・・
 - IIMでは36年間で培った性能や運用に特化したノウハウをベースとしたアセスメントサービスをご提供しています。
 - 貴社担当営業やSEまでお気軽にご相談ください。